



問 人口増加施策を進めていく中で、分譲住宅地である春日浦は地震や津波、液状化などの風評もあり、なかなか売れない状況だと思うが現状はどうか。

ある春日浦は地震や津波、液状化などの風評もあり、なかなか売れない状況だと思うが現状はどうか。

答 春日浦の分譲は、70%が売れ残っている状況です。当初は蒲郡市土地開発公社の事業として行っていました。今年3月、すべてを蒲郡市が買い取り、現在市有地となっています。買いやすくするために区画を小割りにしたり、単独販売を改め、不動産業者による売り込みを図るための補正予算も認められました。

昨年設置した人口増のプロジェクトチームにより、住宅地の開発要件として、公道への接続を2点造らなければならなかったものを1点でもよいように規制緩和し、住宅を建てやすくしました。

今年度、人口増加のため、次に次のPRを実施。

対策

① インターネットポータルサイト立ち上げ

② ショッピングセンターやハウジングセンターでのPR活動

③ 情報誌配布



主に20代、30代でこれからマイホームを考えている方を対象に、蒲郡市の魅力をPRし、市内不動産物件を紹介しています。

問 国道23号蒲郡バイパスは平成25年度中にできるのか。また、蒲郡西インターができることで、市役所通りの交通量は増えるのか。

蒲郡バイパスの西半分（幸田からオレンジロードまで）は、今年度中になんとか完了させたいと国から聞いております。蒲郡インターと蒲郡西インターができることで、安城・西尾など西方面からの車両は市街地を通ることなく、東へ抜けると考えられますので、大型車両は大幅に減ると思われます。

答 現在、アナログ方式で市役所からの遠い所は電波が弱く、聞き取りにくくなっています。デジタル方式は中継点を増やすことができますが、アナログ方式ではできません。簡易アンテナ（自己負担500円）、さらには外付けアンテナ（1万6千円のうち、自己負担3千円）で改善されますので、お試しください。

問 防災ラジオの電波が弱い。形原、西浦は特に雨の日は聞き取りにくい。アンテナ設置を勧められたが、基地局を増やしてもらえないか。

現在、アナログ方式で市役所からの遠い所は電波が弱く、聞き取りにくくなっています。デジタル方式は中継点を増やすことができますが、アナログ方式ではできません。簡易アンテナ（自己負担500円）、さらには外付けアンテナ（1万6千円のうち、自己負担3千円）で改善されますので、お試しください。

答 現在、アナログ方式で市役所からの遠い所は電波が弱く、聞き取りにくくなっています。デジタル方式は中継点を増やすことができますが、アナログ方式ではできません。簡易アンテナ（自己負担500円）、さらには外付けアンテナ（1万6千円のうち、自己負担3千円）で改善されますので、お試しください。

現在、アナログ方式で市役所からの遠い所は電波が弱く、聞き取りにくくなっています。デジタル方式は中継点を増やすことができますが、アナログ方式ではできません。簡易アンテナ（自己負担500円）、さらには外付けアンテナ（1万6千円のうち、自己負担3千円）で改善されますので、お試しください。